

徳島県南部地域

協議会主体による山の相談窓口開設 と森林バンクによる経営管理の推進

市町・県・徳島森林づくり推進機構の連携強化により、
森林所有者への対応の効率化と迅速化

現状と課題

人工林資源が利用期を迎える中、森林所有者の高齢化や不在村化が進行し、所有者不明の森林も増加している。

このことから、早急に森林所有者の特定や、今後の森林管理の方針を決めることが急務となっている。

アプローチ

昔からの地域的なつながりのある徳島県南部地域の市町と県、徳島森林づくり推進機構が連携し森林経営管理法の周知、森林所有者の意向調査を協議会で行うこととし、資料作成等の事務や説明会も共同で行い、効率化を図るとともに情報の共有化を図り、市町村での森林管理に迅速円滑に対応した。

取組の効果・成果

説明会を複数回実施することにより、延べ千名近い森林所有者に参加いただくとともに、常設の相談窓口「ハローフォレスト」を設置したことにより、対面での意向調査や制度説明等を実施するとともに、電話対応も実施しており、森林所有者の理解の醸成が進んでいる。

また、森林経営管理法に基づく森林所有者の意向調査結果と併せて、「森林を売りたい・寄付したい」などの希望を「とくしま森林バンク」に登録していくことで、より一層、森林所有者の望む森林管理を実現していく。

成功要因

森林所有者へ送付した制度説明資料に森林所有者の責務があることを強調するとともに、森林の売買、寄付を含む全ての管理方法について相談できる体制をとったこと、昔から関係の深く、森林所有者も混在する市町が連携したこと、積極的に県、徳島森林づくり推進機構が関わったことで効率的に連携することができたため。

他地域でも応用できる考え方

協議会での取り組み他地域でも参考になると思われる。

◆ 森林経営管理法に関する制度説明会
徳島県南部地域林業成長産業化協議会主催
開催日時：平成31年3月24日（日）

